フランス式庭園

校章

農林高校新聞

発行者
山梨県立農林高等学校
甲斐市西八幡４５３３
ＴＥＬ０５５-２７６-２６１１
ＦＡＸ０５５-２７９-１４１３

本校卒業生の研究者を紹介

校長　中島勝人

アメリカのオレゴン州立大学に勤務している川合信司氏が突然来校しました。現在大学で「オウトウショウジョウバエ（Drosophila suzukii）」の研究を行っているとのこと。このオウトウショウジョウバエは桜桃（サクランボ）栽培において最もやっかいな害虫であり、未だに確たる生態系や確実な防除法などが解明されていないと説明を受けました。私自身、我家で桜桃栽培をしているので、その害虫の脅威については理解しているつもりです。特に生育期の後半になるとその害虫の被害が拡大します。害虫は過熟となった果実の表皮から産卵管を挿入して卵を産み付けるのです。やがて産卵した卵は幼虫になり果肉を食害するので腐敗果となり収穫不能になります。また、産卵した箇所が褐色となりそこから果汁が出てきて他の害虫もその果汁を求めて集まり害虫たちの楽園状態に陥るのです。

川合氏によると、このオウトウショウジョウバエは1916年に発見され、1930年代に山梨県職員だった神澤恒夫氏によってその生物学的特徴について詳細な研究が行われたそうです。そして、その研究論文は今もなお研究者の参考文献として活用されていると川合氏は述べています。このたび川合氏が本校を訪問されたのは、神澤氏が本校を卒業していることを知り、神澤氏の研究ルーツの解明を求めて来校されたわけです。

本校100周年記念誌で調べると、神澤氏は本校の第一期生（明治四十年三月二十六日卒）であることが判明しました。名簿の住所は中巨摩郡竜王村（現甲斐市篠原）とあり、就職先は県農試技師(現・総合農業技術センター)とありました（P17）。神澤氏の業績について果樹試験場の研究者であった土屋恒雄氏（昭和二十五年度農業科卒）は、神澤氏について記述しており（P311）、「オウトウショウジョウバエの生態究明と誘殺壜による防除法の確立」についての研究業績を称えています。また、その他の記述のなかで私が特に驚いたのは、ブドウの害虫「フィロキセラ」の研究です。この害虫は根の細根に寄生して瘤を作る根瘤型と、葉に寄生して葉瘤を作る葉瘤型とがありますが、害虫に侵されると新梢の生育が阻害され花振いを発生させ良質な果実が収穫できない症状を引き起こします。神澤氏はその対策として、免疫性台木による防除法を確立し、その研究によりブドウ王国山梨の礎となる貢献をしたことです。また、葉の葉液を吸汁する葉ダニの種類なかで、葉ダニの種類を特定し、「カンザワハダニ」の命名も神澤氏の名前に由来します。神澤氏に関する文献などを検索することにより、研究発表の多さやその研究が農業生産や発展に貢献された偉業について深く感服する次第です。

本校は先人に学ぶ事業のなかで、浅川巧・石原文雄・鳴山草平・福田甲子夫氏らの活躍についてふれながら活動してまいりましたが、農業分野においてもこのような偉大な研究実績を成し遂げた神澤恒夫氏に対し敬意を表し称えるとともに、皆さんも農林高校を卒業した先人達に負けないよう自己の未来を拓ける農林高生になってほしいと思います。

研究室での神澤先生

農業クラブが取り組んでいる地域交流活動

私たち農業クラブは、地域特産品である「やはたいも」に目を向けることと地域交流の活性化を図るために昨年度に引き続き、十月二十二日、黎明ホールを会場に第二回八幡新田地区長寿会との交流会を行いました。今回は、新田二区の長寿会の方にも呼び掛けて盛大に開催することができました。校内散策と甲州弁によるラジオ体操を楽しんで頂いた後に「やはたいも」を使った芋煮の他にほうとうによる会食会を行いました。調理を担当いただいた地域の方のご指導の下、味の調整や調理の仕方を教えていただき、家庭でいつも食べているモノよりとてもおいしく作ることができました。

会食後には、グループに分かれて座談会を行い、人生経験を交えたアドバイスや「やはたいも」を使った調理について、いろいろな話を聞かせていただきました。農業クラブ役員である生徒もどのような座談会にすべきか、各自が創意工夫し準備してきたようで、予定していた時間が短く感じる程でした。

今年の芋煮会に先立ち、十月二日には地域で開催されたお祭りにも参加し、芋煮会のアピールや「やはたいも」に関するアンケートを行いました。初めて担ぐ神輿に一喜一憂し、とても楽しいひと時を過ごすことができました。

この地域交流活動を通して、日ごろ高校生のコミュニケーション能力が低下していると言われる中、自分の考えを伝えることや学校カリキュラムのことが説明できるなど「伝える力」や「説明する力」を伸ばすことにも繋がり生徒の成長が見られる活動となっています。芋煮会など地域との交流をとおし農林高校を知ってもらえ、お互いが親近感を得られるなど、今後もこの活動をひろげていきたいと考えています。

（農業クラブ担当　渡辺清美）

農業クラブと八幡新田地区長寿会の皆さん

第五十一回白楊祭

十月二一日体育祭（予備日の実施）、十一月二日文化祭、十一月一二日に収穫感謝祭が行われました。今年は開催五十一回目です。生徒会、白楊祭実行委員、全校生徒が一つになって、企画・準備・運営をしました。

十月の体育祭は熱気と笑い声、声援が入り交じり、それぞれのクラスが一丸となって各種目に取り組んでいました。運動会は球技が不得意でも楽しめるものを生徒会が長い時間をかけて考えました。具合の悪くなる生徒も少なく、みんなが笑顔になれた時間を演出できたのではと思います。文化祭は例年通り文化局各部の展示、クラスが協力して作るクラス新聞、先生方の似顔絵、体育館でのクラス発表を実施しました。審査基準に沿い、限られた時間の中で最大限の工夫をして、充実したステージや作品の展示が見られました。特にクラス発表では、演劇やコント、身の毛もよだつような怖い映像作品など、見ている人の目を奪う発表が多く、審査員の先生方も採点に悩んでいたようです。収穫感謝祭では式典に続いてクラスの模擬店、野外ステージ、農産物販売が同時にスタートしました。野外ステージでは軽音楽部、吹奏楽部と郷土芸能部の発表があり、来校された一般の方々も足を止め、一緒に催しを楽しんでいました。シンガーソングライターの伸太郎さんにも来て頂き、楽しいひとときが流れました。大勢の来賓、保護者の方々、一般の来校者への、おもてなしが出来たように思います。

生徒主体の活動である白楊祭に、参加していただいたすべての方々に感謝し、これからの農林高校がこれまで以上に発展できるよう生徒会も様々な工夫をしていきたいと思います。（生徒会主任　清田徹磨）

感動・学びの修学旅行

九月六日から三泊四日、二学年は北海道修学旅行へ行って参りました。

今年の北海道は八月中旬に台風七号が九年ぶりに上陸し、その後も十一号、九号と立て続けに三つの台風が上陸する、観測史上初となる気象状況に見舞われました。出発直前にも十号の接近によって甚大な被害を受けており、生徒には修学旅行の意義や目的と共に「自然災害を被っている地を訪れる」ことも心に留めておくことを伝える中での出発となりました。訪れる予定の青い池等、復旧の目処が立っていない箇所もあり安全対策を常に考慮しましたが、生徒たちにはそんな懸念を払拭する頼もしさがありました。悪天候の中でも迅速な行動を心がける姿や、自然の猛威を目の当たりにしたことで、普段の生活がどれほど恵まれているかを改めて実感し、見たもの感じたことを吸収しようとする姿勢が要所要所に伺えました。

事後アンケートからも分かるように、生徒たちは、北海道の自然や文化・歴史に直接触れながら多くを学びました。行動展示で有名な旭山動物園では初めて見る動物たちの姿に癒やされ、富良野のどこまでも広がる丘陵に目を見張りました。「百聞は一見にしかず」雄大な自然の中での体験学習や、北の味に舌鼓を打った自由行動も忘れがたい思い出です。それと同時に、山梨の文化や歴史についての認識も新たにし、また、集団行動をとおして、ルール・マナーを守ることの重要性を再認識し、自他を尊重する心を育みました。生徒たちには、修学旅行へ参加させてくれた保護者への感謝の気持ちを忘れずに、今後の生活に活かしていくことを期待しています。それでこそ真に修学旅行が成功したと言えると思います。

保護者の皆様のご理解とご協力、支えてくださった多くの方々に感謝いたします。紙面をお借りし、心より御礼申し上げます。（二学年主任　坂本　篤）

美瑛町・四季彩の丘

農業クラブ全国大会

第六十七回日本学校農業クラブ全国大会（平成二十八年度大阪大会）が、十月二五日（火）～二七日（木）に開催され、全国の農業を学ぶ生徒（クラブ員）が日頃の学習成果の発表や競技に腕を競い合い、また参加者同士が交流を深めました。本校からは農業鑑定競技に各科計五名（三年四名、一年一名）、クラブ員代表者会議に小宮裕壱農業クラブ会長がそれぞれ参加しましたが、平板測量競技には県大会で敗れたため参加できませんでした。参加生徒は皆、精一杯取り組み、また大阪府連の素晴らしいおもてなしを受け感激しました。また大阪府の農業や食文化に触れることができ、有意義な時間を過ごすこともできました。

農業鑑定競技の結果については、今年度渡辺清美先生をリーダーとした農鑑学習指導体制を立ち上げ、一学期から学習会や合宿を通して熱心に取り組んできた成果が現れたため、四名が見事、優秀賞を獲得するという、これまでにない好成績を残すことができました。特に食品科学科の望月沙織さんは、一年生にして入賞という快挙を成し遂げてくれました。また、クラブ員代表者会議では「耕作放棄地や自然災害で農業を行えなくなってしまった土地に対して、クラブ員ができることは何か。」というテーマについて、全国のクラブ員と話し合った結果を班ごとに発表しました。これ以外の意見発表とプロジェクト発表は関東ブロックの壁を突破することがなかなか難しいのですが、それも含め来年度の岡山大会に向けて、クラブ員の意欲的な取り組みをお願いします。

（農業クラブ主任　宮澤芳美）

高校総体以降の各部学科が県内外で活躍した結果です。顧問の指導と厳しい練習に耐えて毎日積み重ねてきた各部の生徒達の努力の成果だと思います。選手たちのあきらめずに取り組む姿勢は大いに賞賛に値します。各部活動の生徒の今後の活躍にも期待したいと思います。

（生徒会主任　清田徹磨）

○弓道部　第２回峡西南地区高校生大会　女子団体３位
○レスリング部　関東高等学校レスリング大会　グレコローマンスタイル55kg　３F神田優人　第１位、66kg　３E田口学容　第１位、74kg　３E山本丈介　第２位、120kg　２F高橋三十郎　第１位、フリースタイル66kg　２H橋本楽人　第６位
▽第71回国民体育大会レスリング競技山梨県代表選考会　グレコローマンスタイル55kg　３F神田優人　第１位、フリースタイル74kg　３E田口学容　第１位、グレコローマンスタイル120kg　２F高橋三十郎　第１位
▽第32回全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会　55kg　３F神田優人　第１位、66kg　３E田口学容　第３位
▽第71回国民体育大会レスリング競技　少年グレコローマンスタイル55kg　３F神田優人　第２位
▽平成28年度山梨県新人大会（関東選抜予選）学校対抗戦第１位　フリースタイル50kg　１年５組　樋川悠作　第１位、55kg　２E大佐古海斗　第３位、１年２組　松本健新　第２位、60kg　２H橋本楽人　第１位、１年３組　山崎翼　第２位、66kg　１年３組　小林大悟　第２位、74kg　１年５組　小澤秀太郎　第３位、84kg　２F大野健太　第３位、120kg　２F高橋三十郎　第１位
○陸上競技部　第30回山梨県高等学校陸上競技学年別大会女子少年A３０００m　３S石井彩　第１位、３S田中栞　第３位
▽第62回山梨県高等学校陸上競技新人大会　２S澤登恒河　男子１５００m　第２位、男子５０００m　第２位、２H石原大誠　男子３０００SC　第２位
▽第67回全国高等学校駅伝競走大会山梨県予選会男子第３位
▽第28回全国高等学校駅伝競走大会山梨県予選会女子第３位
▽第51回峡中駅伝大会一般の部第３位　３S穂坂快晴　一般の部第１区区間賞、２E西澤圭介　第６区区間賞
○写真部　山梨県高写連春季審査会　２E五味友佑　佳作、２S皆川七彩　佳作、１年１組保阪想太　佳作、１年５組小沼紀理子　佳作、１年３組中村優希　佳作
▽山梨県高写連秋季審査会団体の部　第２位、１年５組小沼紀理子　銅賞、１年５組志村梨穂　銅賞、２E原澤大成　入選、２E五味友佑　入選、２H廣瀬日和　佳作、２S皆川七彩　佳作、１年５組中込優佳　佳作、１年５組横森香帆　佳作
▽山梨けんみん文化祭高校生の部　２H廣瀬日和　入選、２S皆川七彩入選、１年３組中村優希　入選
○農業クラブ　第67回山梨県学校農業クラブ連盟各種発表大会　意見発表Ⅲ類　３G石田綾香　最優秀、意見発表Ⅰ類　２H深沢有紗　優秀、３G小宮裕壱　意見発表Ⅱ類優秀、３H鈴木彩水　意見発表Ⅲ類優秀
▽農業鑑定競技大会園芸コース　３H根津龍一　最優秀、３H戸嶋夢歩　優秀、森林コース　３F石原圭　最優秀、３F野田堅太　優秀、１年１組杉本龍優　優秀、造園コース　３G清水菜央　最優秀、３G三井大輔　優秀
▽第67回関東地区学校農業クラブ連盟大会静岡大会意見発表　Ⅲ類　３G石田綾香　優秀、プロジェクト発表Ⅲ類　３S杉浦琢斗　優秀、３S伊藤さくら　優秀、３S秋山みすず　優秀、３S石井彩　優秀、３S鮎川綾花　優秀、３S村上かりん　優秀
▽第67回日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技林業コース　３F石原圭　優秀、造園コース３G清水菜央　優秀、造園コース３G三井大輔　優秀、食品科学コース１年２組　望月沙織　優秀
○農場　平成29年度国土緑化運動・育樹運動標語　１年２組伊藤エミリー　優秀賞、２H一瀬桂子　優良賞
○文芸同好会　山梨県俳句大会　１年１組寺坂美桜　高校生特別賞
○生徒指導係　第46回二輪車安全山梨県大会　３G功刀卓臣　第１位、２E手塚曹之　第２位、２H深沢有紗　第２位
○弁論　第40回全国高等学校総合文化祭弁論部門　３G高松君子　文化連盟奨励賞
▽第32回高校ユネスコ主張大会自由部門　２S土橋美桜　優秀賞、２G豊島彩星　優良賞
○国語科　山梨ティーンズメッセージ２０１６小論文の部　１年４組志村成美　佳作
▽第62回青少年読書感想文山梨県コンクール高等学校の部　２S依田想　佳作、１年２組望月沙織　佳作、２H深沢有紗　佳作
○地歴・公民科　税に関する高校生の作文　２S依田想　甲府税務署長賞

第五十一回白揚祭・収穫感謝祭～112年の歩み～

十一月十二日（土）に第五十一回収穫感謝祭が多くの来賓を招いて開催されました。五十一回を数え、さらに百十二年の歴史と伝統を引き継いだ収穫感謝祭のため、その歩みをパネルなどで展示しました。今年度は、緑化推進運動への『内閣総理大臣表彰』の栄誉を受け、表彰状を展示ケースで公開しました。また、全校生徒が「おもてなし」を意識して取り組みました。

収穫感謝祭は農林高校の最大の伝統行事であり、常に地域の方々との交流を図り、地域に貢献できるよう実施しています。農業高校として生徒の日頃の学習成果や実習をとおして丹精込めてつくった農産物や加工品を販売し、地域の方々との交流の場としています。

今回も収穫感謝祭を盛り上げて頂くため、シンガーソングライターの伸太郎さんに参加していただきました。発表広場では、吹奏楽部・軽音楽部・郷土芸能部によるステージ発表を行い、初めての企画で吹奏学部と郷土芸能部の合同演奏により、会場の方々と一緒に盛り上がることができました。その他、各クラスによる工夫された「模擬店」や「ＰＴＡ模擬店」「家庭科模擬店」「宇宙大豆味噌試食アンケート」等を実施しました。フランス式庭園では、茶道部による「野点」にて来賓や一般の方々におもてなしを行い、歴史館前ではファームクラブによる「ふれあい動物体験」を実施しました。

「おもてなし農産物市場」の各学科販売所では、本校で収穫した黎明米・白菜・ネギ・メロン・味噌・ジャム・木材加工品などの多くの品目を販売し、大勢のお客様が長蛇の列をつくり、多くの生産物をお買い求めいただきました。生徒も農産物等の販売をとおして、交流や販売実践を身も持って感じる事ができました。

今年の収穫感謝祭も、全校生徒が農業高校生としての自信と誇りをもって協力して開催できました。来年も第五十二回収穫感謝祭がさらに地域の方に期待されるよう実施します。

（農場長　村松泰直）

命の大切さを学ぶ授業（平成２８年１１月１６日実施）

今年度の「命の大切さを学ぶ授業」では、交通事故によって愛する我が子（真緒（まお）さん、小学校２年生）の命を奪われた小谷真樹（おだにまさき）氏（京都府在住）による講話をお聴きしました。

真緒さんは平成２４年４月２３日、登校途中、無免許で居眠り運転をしていた少年の車が歩道に突っ込み幼い命を奪われました。この事故では３名の方が亡くなり７名の方が重軽傷を負いました。真緒さんを失った家族は深い悲しみの底に突き落とされました。奪われた命は二度と取り戻すことはできません。

小谷氏は子どもを失った深い悲しみと加害者に対する強い怒りや憎しみの中で、このような理不尽（りふじん）（道理にあわない）な出来事に「交通事故」という言葉はあてはまらないとし、「交通犯罪の被害者」として活動を始め現在に至っています。

小谷氏は交通事故の被害者にも加害者にもなってはならないと訴えました。本校でも自転車やバイクによる交通事故が多発しています。場合によっては自分自身が命を落としたり他者の命を奪ってしまうことにもつながる交通事故は非常に恐ろしいものです。改めて一人ひとりが交通マナーや安全運転について反省する必要があります。

講話の最後に小谷氏は、『今』は真緒が最も生きたかった時間である」と述べ、誰もが「今」この時を精一杯生きることの大切さを考えてほしいと涙ながらに話されました。私たちもこの言葉の重みをしっかりと受け止め、自分自身の在り方についても考えなければならないと思いました。

（教頭　宮川尚巳）

俳句・川柳コンテスト結果

テーマ（勝利・輝く・農業）

生徒優秀作品

俳句

金賞　秋風に　稲穂波打つ　金の海　３-F　依田拓己
銀賞　虫食いの　トマトは僕の　自信作　２-S　澤登恒河
銀賞　ひまわりの　如く堂々　金メダル　１-１　佐藤竜司
銀賞　農業の　楽しさ知った　日焼け顔　１-１　小枝もも
銀賞　炎天下　滾る血燃やして　得る勝利　２-E　岩下海斗
銀賞　育てるは　美味たる食物　民の笑み　１-２　伊藤エミリー
銀賞　夏畑　土にしみ入る　雨と汗　３-S　伊藤　快
銀賞　夏風に　ゆれる祖父の　服と米　３-H　穐山尚生
銀賞　夏休み　きゅうりをかじり　熱冷やす　２-G　中山静菜
銀賞　セミの声　リズムにのって　くわうちて　３-E　坂本遥希
銀賞　種一つ　芽吹く若葉は　大きな希望　１-５　望月將貴
銀賞　秋実り　稲穂がお辞儀　こんにちは　１-４　久保田若葉
銀賞　夏の日に　緑の田んぼ　すずしげに　２-H　芦沢美穂
銀賞　向日葵や　晴天運ぶ　贈りもの　３-S　伊藤さくら
銀賞　風吹いて　黄金にゆれる　稲たわわ　２-S　土橋美桜

川柳

金賞　大会の　勝利の女神　母の顔　３-H　望月優輝
銀賞　大根も　父のお腹も　太ってく　１-１　佐藤竜司
銀賞　農業で　地域の笑顔　創り出す　１-２　三嶋陽奈
銀賞　どこまでも　続く田畑に　夢を見て　３-G　鈴木愛弥
銀賞　この汗の　分だけ太れ　ミニトマト　３-H　依田涼佑
銀賞　アブラゼミ　勉強中に　泣かないで　１-５　小沼紀理子
銀賞　夕焼けに　染まったボールを　追いかけて　２-G　石橋陸人
銀賞　誕生日　家族の愛を　噛み締める　３-S　伊藤　快
銀賞　こんなにも　気持ちが良いんだ　初勝利　１-３　長田悠利
銀賞　努力して　実りしものが　勝利なり　３-H　塚　雄斗
銀賞　作物は　いろんな命の　上にある　２-E　岩下海斗
銀賞　夢抱き　勝ち取るために　努力する　１-４　山田龍生
銀賞　静かな夜　踊る稲穂と　カエルの声　２-H　細田沙樹
銀賞　緑の葉　色を無くして　秋になる　２-S　早矢仕風羽
銀賞　どの星も　輝き競う　夜の空　２-H　宮川さくら

保護者・職員作品

俳句

金賞　台風に　耐える稲穂の　たくましさ　山下恒子　様
銀賞　プチトマト　飽きがくる頃　秋が来る　嵐　良光　様
銀賞　種まいて　出てきた作物　覚えなし　長田英治　様
銀賞　リオ五輪　朝日の色も　金メダル　上田ゆかり様
銀賞　亡き父の　面影さがす　もも畑　渡辺淳子　様
銀賞　農業の　輝く命　農林生　羽中田豊　様
銀賞　夏の夜の　花火のあとの　静かさよ　望月国彦　様
銀賞　種をまく　その手に未来が　芽吹き出す　小林洋代　様
銀賞　茄子の上　カエルほほ笑む　野良しごと　成ヶ澤幸恵様
銀賞　田の神に　深き一礼　収穫祭　長田　隆　様
銀賞　刈り入れに　農業機械も　汗をかく　青柳武栄　様

川柳

金賞　メタボ父さん　ポケモンGOで　ダイエット　網倉明夫　様
銀賞　産地どこ？　うちの隣の　おじさん家　相原恵美子様
銀賞　何回も　俳句書いても　なんかイモ　嶋津文彦　様
銀賞　農業の　未来を繋ぐ　子供達　飯室里美　様
銀賞　剣道の　勝利信じて　蚊をたたく　羽中田豊　様
銀賞　ピカピカの　孫の笑顔と　つやごはん　川島　透　様
銀賞　コツコツと　日々の努力に　ある勝利　櫻本ゆり　様
銀賞　農業を　学ぶ心に　未来あり　井上三重　様
銀賞　夏の夜　輝く星と　ホタルの舞　村松泰直　様
銀賞　一夜漬け　それが叶うは　野菜のみ　須藤和可奈様
銀賞　生産者　写真うつりも　重要視　長田英治　様
銀賞　ギャルなのに　桃を両手に　ネクター作り　志村明史　様